

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話(03)3751-7181

平成26年10月13日

50号

門連だより五十号に寄せて 門連活動に情熱を注ぐ人材の出現を望む

門連相談役 本山藻原寺住職 持田日勇



「門連だより」が五十号を迎えたということは素晴らしいことである。日蓮聖人七百遠忌が終了し、将来の五十年を見据えて、門連各派が情報を交換し、多角的な交流を続けていく中で、団結の絆を固くしていくための機関紙として役割を果たしていったわけであるが、門連事務局と編集委員会の絶えない努力を称賛する次第である。

この二十六年の間に、門連は二つの展覧会を開催した。これも身延理事會と京都理事會を毎年開催して協議を重ねてきた結果であると共に、機関紙「門連だより」の発行を続けた成果といえる。

七年後の平成三十三年には宗祖ご降誕八百年を、その十年後には七百五十遠忌を迎える。日蓮聖人門下として世界に、日本社会にその意義をどう説いていくかわかる場所であろう。日中韓仏教徒の連携が深まっている。日中韓仏教友好交流会議は今年十一月第十七回の大会を韓国で開催し黄金の絆を固くしている。また、中国は三回の世界仏教フォーラムを開催し、世界仏教界の中心となろうとしている。

世界仏教徒連盟(WFB)も今まで開催されなかった韓国で一昨年、今年十月には中国で開催される。上座部仏教中心であったのが、大衆部仏教と交流を深めている。そこでの祈りは南無本師釈迦牟尼仏の称名である。日蓮門下各派が久遠の本師釈迦牟尼仏の誓願と、法華経とその精神をどう伝えていくか考察が急がれるところである。

提言したいことがいくつある。門下連合会の連帯を深めるために門連各寺院の名簿を作ってもらいたい。すでに全仏傘下

門下連合会理事長就任挨拶

日蓮宗宗務総長 小林順光



先般 六月十日に開催されました日蓮聖人門下連合会身延理事會にて加盟各派教団より御推挙を賜り、理事長に就任いたしました日蓮宗宗務総長の小林順光でございます。重責を担いますが、当会益々の発展に尽力していく次第であります。

さて、当会は『立正安国論』

立正安国論奏進七五〇年においては『日蓮と法華の名宝展』を開催するなど、その時節に際して大きな事業を成し遂げて参りました。

そして、私共は平成三十三年にお迎えする日蓮聖人御降誕八〇〇年を目前として、諸先師先輩が行ってきた浄業を本ととし、立正安国の誓願実現の理念をもとに、闊浮提広宣流布を目指した慶讃事業の展開が望まれる時であると考えております。

從地ゆじゆつ

◆戦後日本は、経済大国と呼ばれるほど目覚ましい経済復興を遂げた。今日の日本の繁栄は「平和憲法」といわれる憲法により、平和立国を目指したことによる。一九九〇年代に入り「平和憲法」の解釈が議論されだし、国際協力ということで自衛隊の海外派遣が実施され、国連平和維持活動(PKO)協力法に基づくPKO活動は、カンボジアに始まり、モザンビーク、ゴラン高原、東ティモール等におよんでいる。本年、安倍内閣で集団的自衛権行使を容認する憲法解釈を決定した。

◆従来の憲法解釈を変更し、自国が攻撃を受けても、他国への攻撃を決定し、日本の存在が脅かされるなどの「武力行使三要件」を満たせば、必要最小限の武力行使は憲法九条の下でも許されること。一九五四年に自衛隊が発足して以来の安全保障政策の大転換であるといえる。本化立正安国論に「それ国は、法に依って自衛、法は人に因って貴し」と示されており、これは、素晴らしい法であった。それを解釈し運用する人によってその国が善国にもなりかねない。高祖日蓮大聖人が示されておられる「法」とは「教え」の意味であり、国が栄える根拠は、国に素晴らしい教えがいき渡っているかにかかっている。教えを運用するに当たっては、我々日蓮門下はどうか。一人ひとりが正しく理解することによって国が栄えます。また、我々日蓮門下はどうか。とにかく我々日蓮門下は「不殺生」が大前提である。いかなることもあって武力行使して問題が解決することは許されぬ。アメリカ等の友好国の主張に同調するのは如何なるものであろうか。

◆ところで我々日蓮門下はどうか。どうして我々日蓮門下はどうか。法は人に因って貴し」となるが、果たして如何に。「新興宗派は盛んに活動し、今高祖御降誕八百年に向けての最重要課題は、門下一人ひとりが高祖の御心に帰る。『立正安国論』の「正法」とは何かを再確認し、周知徹底していくことである。高祖日蓮大聖人は『報恩抄』で「問うて云く、天台仏教の弘通し給わざる正法ありや。答えて云く、有り。求めて云く、何ぞぞや。答えて云く三あり。一には日本乃至一國一法にして本門の教主釈尊を本尊とすべし。所詮法塔の内、釈尊・多宝、外の諸仏、並びに上行等の四菩薩脇士となるべし(本門の本尊)」。二には本門の戒壇。「三には日本乃至漢土日本一國一法にして本門の題目」と正法を三大秘法にしてお示しなすべし。これは、御降誕八百年に向けて我々日蓮門下が一いつとなりなすべきことは、この三大秘法について共通認識をもって広宣流布していかねばならぬ。いではない。(造)

日蓮本宗管長就任挨拶

日蓮本宗本山要法寺貫首 丹治日遠



平成二十四年十二月に前管長嘉儀日有上人が御退隱されることとなり、二十五年十月十三日座替式を挙げて日蓮本宗管長に就任し、並びに本山要法寺貫首に就任し、本年五月八日、御開山日尊上人御生誕七五〇年慶讃大法要に際し晋山式を執り行つて本山要法寺嗣法第五十二祖に就座致しました。素よりその任には非ず先

行き心もとない限りであります。が、仏祖三寶尊の御加護と万般各位の御指導御鞭撻を賜って、及ばずながらその任を果たしてまいりたいと存じております。何とぞ宜しくお願い申し上げます。

私の出身地福島は、平成二十三年三月の東日本大震災により甚大な被害を蒙りましたが、地震・津波の被害もさることながら「原発」事故による被害に悩まされ続けております。原発事故に関連する経済損失は今や天文学的数値などと擲擻され、積算不能とまで言われております。この先も如何ほどかかるものや

ら……。経済的損失ばかりではありません。避難に伴う家族離散・家庭崩壊・地域滅裂・風評被害・自己喪失……。文字とお筆舌に尽くすことができません。これほどの社会的・経済的リスクを負いながら、尚且つ経済活動を優先して「原発」を再稼働させようとするのか、「原発」をなくそうとしないのか、全く理解に苦しみます。幸いに直接死はゼロでありましたが、こんな危険なものを地球上に置いてはなりません。「原発」は止めましょう! 「原発」が無くても生活の出来る社会をつくりましょう!

この世から「原発」がなくなるのは何時か。その時までには、地球上の何処においても《原発事故》が起こらないことを願うや切なるものがあります。

《各派のページ》第六回 「本門佛立宗宗門内外で活躍する僧侶」



本門佛立宗ブラジル中央寺院
日教寺住職
ブラジル教区第十五代教区長

コレイア日友さん

仏教の世界性

仏教が完全に世界中に広まっていなくても、仏教は世界宗教として最も世界的だと言いつけることができます。ただし、仏教や日蓮聖人のように信心修行をすればの話です。

仏教にもいろいろな修行法がありますが、日蓮聖人から教えられた御題目を口に唱える修行が、慈悲に基づいて最も純粹で宗教的だと認められます。多くの場合、他の修行法は時代や人に適していません。それ故に西洋、特にブラジルでは一種の気休めの精神修養法としか見られないことが多いのです。

海外布教は、日蓮門下では六老

プロフィール

これいあ にちゆう。昭和四十二年ブラジル国サンパウロ州生。十一才の時本門佛立宗ブラジル教区中央寺院日教寺に入寺。十五才の時、日本へ留学。平成四年まで十年間滞在。その間、奈良市立一条高等学校、佛立教育専門学校、佛立宗文学部を卒業。ブラジル帰国後、ブラジル南部三カ寺院の住職を経て、平成二十二年本門佛立宗ブラジル教区教区長に就任。平成二十四年ブラジル仏教連合会会長、ブラジル翻訳グループ委員長、ロータス仏教誌編集長に就任。その他、ブラジル国内で仏教文化高揚に関する行事を開催参加するなど幅広く活動を行っている。

の清流は、日水上人を通じてブラジルに渡りました。その歴史は、わずか百年あまりですが、現在ブラジル国内でその評価が高まっております。仏教が人々に浸透し仏教化が進んでいるのです。

佛立第十八世講有日地上人をお師匠といただいた私は、その代表の一人です。新時代の弘通のために育てられたのだと確信しています。私はこれを今生でいただきたい任務とも宿命とも捉えており、それは私にとっては夢でありました。日教寺に入寺する前、私はキリスト教カトリックやプロテスタントの教会等に通い熱心に体験もしました。ですが、どれだけ信仰しても子供ながらにもっと深い教えや修行があるはずだと思っていました。そんな時、母が本門佛立宗に入信し、これをきっかけに私もサンパウロ日教寺に参詣するようになりました。そして、いつしか佛立僧侶の姿に自分を映しはじめていたのです。

「あのようになりたい」、特に説法をされる姿を見ては魅力的だと深く感じたものです。それから三十数年が経ちました。この間、法要式の文言などのポルトガル語訳は進み、非日系人の信徒が増え、得度者が生まれました。ブラジル佛立宗の教務たちの顔ぶれはカラフルです。白・黒・黄色と人種の枠を超え、みな御題目のもとで共に修行に励んでいるのです。御題目

目以外はほとんどがポルトガル語となり、いまブラジルで佛立仏教が一番ブラジルに馴染んできたところを見るとすばらしく思えます。その根拠は、特に僧侶方の仏様はじめ蓮隆扇三祖や日水上人を心からお慕いする姿勢にあります。いかなる教義や伝統より皆が仏祖にひれ伏す姿が美しい。この信心なら安心して布教活動に没頭できる。ブラジルを拠点にもう一度仏教が世界に広められる、広まるべき宗教だとの自信と確信が湧いてくるのです。

現在、本門佛立宗ブラジル教区は、国内に十数カ寺の寺院を有しています。住職は任期制にして常に活性化をはかり、人材育成に力を注いでいる最中です。また、三十四年前の僧侶は、日水上人が艱難辛苦の中で人種を越え人々に寄り添い救って来た姿に憧れ、フロンティアスピリットに溢れ、寺院のない遠い地域に派遣を願ひ出る者も少なくありません。

それですべてにおいて京都の本山有清寺の中心性を保っています。日本の宗制に則りながらもブラジルで培ってきた宗制規則を守り、南米ブラジル弘通に取り組みできました。ブラジルへ渡った仏教は、当初は日本人の宗教、日系人の仏教でした。それが、戦中戦後の紆余曲折を経て現在にいたり、ブラジル人の仏教となってきました。百年かかってあらゆる均衡がバランスよくとれはじめたこれからが一番の楽しみですね。

八年前の平成十八年、ブラジル移民百周年と共に仏教伝来百周年を開催しました。この時、ブラジル教区では、「ブラジル全国各州に寺院の拠点設立」や「現役ブラジル人僧侶五十名に増加」、「六十万坪の佛立聖地の入手」を誓願。佛立聖地はサンパウロ州郊外にすでに入手できました。敷地内には資源、水源豊かな緑地に高さ二十五メートルの法塔を建設し、来年七月には佛立第二十五世講有山内日開上人をお迎えして開眼式を挙行予定になっている。そして、全国全世界の佛立信徒の修行・参詣

の場、教育福祉等の拠点としていく計画でいる。さらに、広島市公認の平和の鐘を建立し、ブラジルと日本、地球の両極から鐘の音と唱題の音声響かせ、平和への思いを世界に届けたいと考えている。この達成は、ブラジル弘通初祖・茨木日水上人、御五十回忌の平成三十二年までという誓願であります。一天四海皆帰妙法の前では塵ほどにもならないご奉公もできませんが、これで勢いづくことができれば前進できる、報恩とさせていただけると確信しています。

日蓮聖人の仏教文化、これこそが世界を遍く平和に導くことができる特性を持っています。人々を幸せに導くことができる世界性を十分有しているのです。しかも、今を逃しては後がない。夢は見るためにあるのではなく生きるためにある。だから今でなければならぬと心から常精進を誓い、報恩のご奉公をさせていただきたいのであります。

【コレイア日友 講演会】
京都佛立ミュージアム主催
テラコヤスコラ vol.16
『ブラジルの仏教』
講師・コレイア日友師
二〇一四年十月十二日(日)
開演…一四:〇〇
入場…無料

本門佛立宗ブラジル教区第十五代教区長・中央寺院日教寺住職。イタリア系ブラジル人にして南米ブラジルにはじめて仏教を伝えた茨木日水の後継者。十年間日本で修行し培った関西弁は関西人以上！ブラジルと日本、ブラジルの仏教についておもしろく熱く語っていただきます。

会場 京都佛立ミュージアム
(京都市上京区御前通一条上ル東
堅町一〇)
TEL 〇七五-二八八一三四四
website:
<http://www.hbsumuseum.jp>



感動のそばに、いつも。

団体参拝をはじめ、ご旅行のご相談と手配は
JTBグループにお任せください。

ホームページ <http://www.jtb.co.jp>

日蓮宗宗務院

宗務総長 小林順光 財務部長 中川法政
 伝道局長 齊藤憲一 宗務総長室長 小林正雄
 総務局長 塩崎望巳 現代宗教研究所長 三原正資
 伝道部長 吉田見悠 参 与 山口裕光
 教務部長 田中文教 参 与 吉田海心
 総務部長 風間随修 日蓮新聞社社長 草ヶ谷秀人

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二二-一五
 電話 〇三(三七五二)七二八一
 FAX 〇三(三七五二)七二八六

法華宗(本門流)宗務院

管 長 平 田 日 範
 宗務総長 二 瓶 海 照
 庶務部長 金 井 孝 顕
 布教部長 久 永 晃 顕
 教務部長 三 吉 廣 明
 財務部長 清 水 常 光
 山 田 庸 温

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-一九-一
 電話 〇三(五六一四)三〇五五(代)
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長 山 本 日 恵
 宗務総長 朝 倉 俊 幸
 宗務次長 藤 崎 行 学
 教務部長 早 川 義 正
 庶務部長 阿 曾 久 成
 社会部長 湯 原 純 勇
 布教部長 桑 村 信 慶
 財務部長 河 野 時 巧

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九-一
 電話 〇七五(七九二)七二七一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 石 丸 日 然
 宗務総長 佐 古 弘 文
 総務部長 牧 野 秀 成
 教務部長 布 施 義 高
 教化部長 今 井 満 良
 財務部長 金 原 孝 宜
 企画部長 山 岸 観 深

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三五七六)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 木 村 日 覚
 宗務副総長 西 村 日 要
 宗務副総長 植 松 常 二 郎
 教務局長 龜 井 日 魁
 弘通局長 植 田 日 事
 総務局長 藤 本 日 唱
 広報局長 澤 田 日 松
 財務局長 西 村 日 勲
 奉賛局長 藤 本 日 涌

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上多東野町二-〇番地
 電話 〇七五(四六一)一六六(代)
 FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹 治 日 遠
 宗務総長 原 田 智 光
 財務部長 二 瀬 智 光
 総務部長 原 光 明
 教務部長 原 光 明

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ノ法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 田 仲 日 紘
 宗務総長 堀 智 泰
 総務部長 木 村 完 祥
 教務部長 堀 内 浩 善
 教化部長 加 藤 順 昭
 財務部長 上 田 泰 源
 社会部長 峰 尾 泉 栄

〒602-8447 京都市上京区智慧光院通り五辻上ノ紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 松 下 日 肆
 宗務総長 藤 井 日 靖
 宗務副総長 増 田 隆 雄
 宗務部長 吉 村 日 彦
 財務部長 土 畑 信 教
 教務部長 山 田 岳 隆
 庶務部長 高 邊 晶 啓

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三二二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主 田 中 壮 谷
 理事長 原 田 義 彦
 門連理事 森 山 真 治
 門連常任理事 藤 本 坦 孝
 門連理事 的 場 春 奈
 編集委員 (門連系)

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-一九-一八
 電話 〇三(三六五六)七二二(代)
 FAX 〇三(三六五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 田 仲 日 紘
 副会長 伊 丹 日 章
 理事長 足 立 真 正
 副理事長 橋 本 一 妙

京門連事務局
 〒602-8447 京都市上京区智慧光院通五辻上ノ紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

日本山妙法寺大僧伽

首 座 吉 田 行 典
 責任役員 酒 井 天 信
 同 今 井 行 康
 同 池 田 行 朗
 同 二 宮 和 嘉
 同 木 津 博 充
 同 川 岸 行 孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六一)九三六三
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 東 孝 信
 副理事長 原 光 承
 理事・会計 松 井 英 光
 理事 門 谷 光 瑞
 理事 中 村 日 游
 理事 佐 野 貫 順
 理事 神 谷 行 俊
 理事 山 田 玄 精
 理事 木 村 完 祥
 理事 渋谷 正 龍
 理事 吉 永 義 康
 理事 村 木 光 男

〒582-0020 大阪府柏原市片山町一九番二-一
 欣心寺内
 電話 〇七二(九九七)九八〇六
 FAX 〇七二(九九七)〇一八四

第五十号特別企画 「門連だよりを振り返って」 『従地ゆじゅつ』 抜粋

今号で「門連だより」は五十号を迎えました。毎号に掲載されている「従地ゆじゅつ」は、機関紙編集委員として加盟団体より派遣された編集委員が、その時代時代にふれて問題提起をしています。昭和六十一年四月二十八日の創刊号より、平成の世となり四半世紀の時代を推移する中で、宗派の立場は違えども、日蓮聖人を宗祖と仰ぐ編集委員の思いをご覧ください。

六号

(平成元年一月十五日付)

◆歴史的に戊辰の年は、社会大乱激動の年であると言われるが、正しく前年六十二年は、日本社会世相全般にわたりその様相顕著であった。◆そして新春早々、昭和天皇裕仁陛下が崩御され、日本国民にとつて悲しい年の幕開けとなった。元号も『昭和』から『平成』へと改元され、新たな時代の一步が記された。◆昭和の六十余年は、日本史上稀にみる激動の日々で大事件、戦争、波瀾の数々は枚挙にいとまがない。◆その『昭和』も終焉を迎え、見直しが必然的に求められている。◆しかし、その時の流れに常に、我々日本人の支柱として、社会、国家の安泰と人々の幸福を願ひ、終始無私公平を心がけ、産業文化の発展と国際親善に務められ、平和の保持を熱望されたのが、天皇陛下である。◆天皇制、戦争責任のあり方など、諸々の立場に多少議論の余地はあるが、その間長期にわたる在位年数の過程、平和国家の建設と社会復興に尽され、日本の安定に大きく寄与された陛下の存在と、そのお人柄と事績を通じて「昭和」という時代を見つめ直すことは我々にとり大切であろう。◆戦後の日本は経済的発展の面において

十三号

(平成八年二月十六日付)

◆昨年一月十七日未明の阪神大震災に続いて、三月二十五日には東京で戦後最悪のテロ事件、オウム真理教による地下鉄サリン事件が発生した。この二つの大きな出来事は、数々の教訓を残すことになる。◆就中オウム教団によるサリン事件は、宗教界にとつて衝撃的であった。新興宗教とはいえ、一宗教団体が警察・国家に対して、テロ行為を犯していたからだ。◆それにしても将来有望な若者をそのまま暴走させてしまった原因は何であろう。一口に学歴偏重による「ひずみ」と、簡単に結論づけて良いであろうか。教育機関にのみ責任転嫁させる訳にはいかない。今こそ既成宗教がこの機に立ち上がるべきではないか。◆残念な事は、オウム教団のこの一連の事件に対して、門

二十六号

(平成十四年十二月二十八日付)

◆「文永十一年十月に蒙古国より筑紫によせて、対馬の者……百姓等は男をば或は殺し、或は生取りにし、女をば或は取集めて手をとをして船に結付、或は生取にす。一人も助かる者なし」(二谷入道御書)。戦争とは、いつの世でも、女性や子供そしてお年寄りが一番被害を受ける。悲しいことに、宗祖の鎌倉時代

連としての統一見解が未だに発表されていないことだ。一教祖のカリスマ性があれだけ多くの若者を魅きつけたということ

は、潜在的に誰でもオウムの信者に成り得るのである。◆宗教の本質とは愛と慈悲の実践である。生きとし生ける者への哀れ

を注ぐことにある。宗教本来の目的を忘れてしまえば、今後既成宗教に対して風当たりが強くなるだろう。◆元検事の堀田力氏は、人間の心には元来「助け合う遺伝子が汲みこまれてい

る」と、平素から話されていた。阪神大震災では、全国から延べ二十万人の人がボランティアに駆けつけた事でそれが証明された。心の底に眠っていた慈悲の心が、今回の大震災で甦ったのである。◆平成十四年には立教開宗七百五十年を迎える。この大事業を名実共に成就するには、日蓮大聖人の御意志に恥じぬ決意が門下全体の急務であり、僧俗が異体同心する機会でもある。(柳)

と現代とは、時代は離れていても同じ未法であり、その様相において異なるところは無い。◆平成十三年度の漢字コンテストで、一年を象徴する字として一番になったのは「戦」。平成十三年九月十一日のニューヨークの同時多発テロは世界を驚愕させた。三千近い尊い人命を奪った犯人はウサマ・ビンラディンとして、米政府は報復のため、政権を崩壊させた。しかし、未だ犯人の生死も確認できず、爆撃は逆に一般市民数千人の死傷者をもたらした。◆このテロの背景には、イスラム教の過激派が存在する。イスラム教は六世紀にマホメットが教えを説いたことに始まり、彼は戦いをしながら布教したことが特色であり、スペインからインドまで支配した時代もある。アラブを唯一の神と崇め、偶像崇拜を禁止しているため、タリバンはバミヤンの大仏を破壊する暴挙を行った。イスラム教徒は、一日五回の礼拝、喜捨、巡礼を行い、日常的にも禁酒、豚肉を食はず、女性のベールや一夫多妻などの習慣があり、斬首、手足切断などの刑罰を行うことも認められている。これを過激に実行したのがタリバンである。◆しかし、世界の平和は報復では決して訪れない。「恨みは恨みによって止まず、恨みは恨みなきによつてのみ止む」「もし争いをもつて争いを止めんと欲せば、ついに止まることを得ず」という釈

三十九号

(平成二十一年二月十六日付)

◆昨年来の米国発の金融危機は、日本経済に大打撃を与え、円高雇用難民、景気低迷は長期化している。政治は混迷を続けるのみで、景気回復への有効な政策は未だ見出されない。昨年の漢字は「変」であったが、プラス方向への変化なら良いが、マイナス方向では、日本のみならず世界中が大変である。米国のオバマ大統領は「チェンジ」と叫んで当選したが、世界経済の安定、温暖化等の地球環境問題、新型インフルエンザの出現、続発する民族紛争、国際テロ等、早くプラス方向にチェンジを要するものばかりである。他人まかせで、為政者のみに、危機克服を依拠期待するだけでは何も解決していかない。今この時こそ、我々一人一人が何ができるか、何をすべきか、自問自答する必要がある。本年は『立正安国論』奏進七五〇年に当る。「汝、早く信仰の寸心を改めて、速かに実乗の一善に帰せよ。」今こそ宗祖のこの一筋を胸に銘記し、我々自身がチェンジする時である。◆「変」続きで述べると仏教の命題の一つ、「諸行無常」がある。「この世のあらゆる全ての現象、存在は移ろい変わりゆくもので、生滅変化を繰り返す常ならずにある」とされる。有名な平家物語の冒頭、

四十四号

(平成二十三年九月二十三日付)

◆東日本大震災直後、「想定外」という言葉をよく耳にした。◆確かに、映像で見たあの津波の様子は、想像を絶するもので、あらゆることが想定外であったように思える。大自然の力がいかに大きいか、それに比べて、人間の力がいかに小さなものであるかを思い知らされた。エネルギーとして安全に利用する技術が確立されたかのように言われてきた原子力でも、人間の能力では制御しきれないことが露呈した。◆しかし、このような事態を想定できなかった最大の理由は、震災が起こるまでの毎日が平穏無事であったということではないのか？ それままでは、大地が暴れることなく、海が溢れることもなく、生命の

危険を感じることもなかったからだ。それは何者かによつて護られていたということではないのか。◆三月十一日、千年に一度とも言われるその大地震は起こった。「なぜ今年に限って？」という疑問が残る。◆日蓮聖人が、正嘉元(一二五七)年の大地震を契機とし述べられた『立正安国論』によれば、天変地天の原因は、日本国を守護すべき諸天善神が去つてしまふからだという。それは、正法たる法華経の教えが廃れて法味を味わうことができないためであり、人々に善悪・正邪を見分ける能力が無くなることによつて起る。◆これを踏まえて震災を考へる時、我々は諸天に守護されるにふさわしい立派な考えを持ち、立派な行いをして来たといえるだろうか。物・金・名誉などに執着して、素晴らしい教えがあるにも拘らず、それを捨て去り、人間としてあるべき姿を忘れてはいないだろうか。◆この度の震災は、多くの犠牲者と物的被害を出したが、そこから得ることもあるだろう。何かメッセージを発しているようにさえ思える。今、人間のあり方が問われているのではなからうか。◆我々は、当り前に得られるものについて、その有り難みが分からない。大自然に守られ、諸天の守護を受けていてもその自覚は薄いのではないか。それは、病気になるまで健康の有り難さが分かるのと同じだ。教えも同じで、目の前に法華経という立派な教えが伝えられているにも拘らず、軽んじた

り誇つたりしてはいないだろうか。この国に正法が流布し、国土も衆生も安らかである事を切に願う。(暁)

日蓮宗総本山 **身延山久遠寺**

〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

法主 内野 日総
総務 井上 瑞雄

法華宗(陣門流)総本山 **本成寺**

〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一―一二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

貫首 石丸 壯然
執事 菅原 良光
執事 栗井 孝之
執事 荒川 公孝
執事 近藤 正文
執事 五十嵐 義昭

本門佛立宗本山 **宥清寺**

〒602 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町二〇五十一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

住職 山内 日開
二十五世講有
執事 小野 山日住
事務局長 奥 順作

宗祖御降誕靈場 日蓮宗大本山 **誕生寺**

宗祖御降誕八百年に向かつての祈り

〒299 5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

貫首 石川 日命
執事 橋本 宏信

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 **藻原寺**

〒166 0013 東京都杉並区堀之内三―四八―八
電話 〇三(三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

貫首 持田 日勇
総務 増田 寶泉
執事 富永 一道
執事 中川 貫泰

日蓮宗大本山 **池上本門寺**

〒146 8576 東京都大田区池上一―一―一
電話 〇三(三七五)一三三三一
FAX 〇三(三七五)三三三〇

貫首 酒井 日慈
執事 野坂 法雄
役員 一同

法華宗(真門流)総本山 **本隆寺**

〒602 8447 京都市上京区智恵光院通り五上上丸紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四一)五七六二
FAX 〇七五(四四一)五六六六

貫主 田仲 日紘
執事 足立 真正
執事 本多 信正
執事 永岡 悠希
執事 笹木 研吾

京都 **法華門流懇話会**

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 田仲 日紘
 顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 山本 日恵
 本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 松下 日肆
 法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 菅原 日桑
 本門佛立宗 本山宥清寺 講有 山内 日開
 日蓮本宗 本山要法寺 貫首 丹治 日遠
 法華宗(陣門流) 本山本禅寺 貫首 福井 日進
 顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川 日仰

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 **富士山法華本門寺根源**

〒248 0007 鎌倉市大町一―一―一五一一
電話 〇四六七(二三)〇七七七
FAX 〇四六七(二五)六九六七

貫首 旭 日重
執事 川名 義顕
参与 吉田 日綱
参与 井野上 正文

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安 **瑞輪寺**

〒110 0001 東京都台東区谷中四―二―一五
電話 〇三(三八二)四三七三
FAX 〇三(三八二)七〇三三

貫首 井上 日修
執事 稲荷 泰雅

法華宗(本門流)大本山 **鷺山寺**

〒297 0051 千葉県茂原市鷺東四八
電話 〇四七五(二二)二九七八
FAX 〇四七五(二二)三〇三八

貫首 平田 日範
執事 佐藤 正純
役員 一同

本門法華宗大本山 **妙蓮寺**

〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五二)三五二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

貫首 松下 日肆
執事 音羽 隆全
役員 一同

京都 **法華門流懇話会**

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 田仲 日紘
 顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 山本 日恵
 本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 松下 日肆
 法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 菅原 日桑
 本門佛立宗 本山宥清寺 講有 山内 日開
 日蓮本宗 本山要法寺 貫首 丹治 日遠
 法華宗(陣門流) 本山本禅寺 貫首 福井 日進
 顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川 日仰

日蓮宗大本山 **清澄寺**

日蓮聖人出家開宗の霊場

〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七

別当 二宮 日敬
執事 宮崎 雅宣
役員 一同

日蓮宗大本山 **中山法華経寺**

〒272 0813 千葉県市川市中山二―一―一〇一一
電話 〇四七(三三四)三四三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

貫首 新井 日湛
執事 村尾 貞榮
執事 高谷 正孝
執事 補 三上 智之
執事 補 田中 見定

顕本法華宗総本山 **妙満寺**

〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

貫首 山本 日恵
執事 吉永 義康
執事 山本 晃道
執事 中村 英司
執事 湯原 正純
執事 土持 悠孝

多寶富士山 日蓮本山 **本山要法寺**

〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

貫首 丹治 日遠
執事 原田 智光
執事 二瀬 智光
執事 原 光明

日蓮宗大本山 **清澄寺**

日蓮聖人出家開宗の霊場

〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七

別当 二宮 日敬
執事 宮崎 雅宣
役員 一同

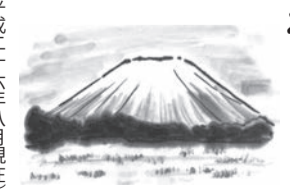
日蓮宗大本山 **中山法華経寺**

〒272 0813 千葉県市川市中山二―一―一〇一一
電話 〇四七(三三四)三四三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

貫首 新井 日湛
執事 村尾 貞榮
執事 高谷 正孝
執事 補 三上 智之
執事 補 田中 見定

平成一十三年二月十六日は
宗祖御降誕八百年を
迎えます

平成二十六年八月現在



門連時報

祖廟参詣及び身延理事会開催さる



日蓮聖人門下連合会 身延理事会 平成26年6月10日

平成二十六年六月十日（火）、日蓮宗総本山身延山久遠寺で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、全国日蓮聖人門下連合会顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会理事長など二十七名が参列した。

午前十一時半、御廟法務所に集合し、祖廟にて法味言上及び記念撮影。続き、報恩閣へ移動し、午後一時四十五分より理事会が開催された。

渡邊照敏理事長退任のため、先に理事長の選出を諮り、常任理事会にて推挙された全門連理事・日蓮宗宗務総長の小林順光師が理事会にて正式に承認。挨拶の後、座長となり議題に沿って議事を進行。「平成二十五年事業報告」「平成二十五年年度決算報告」について事務局より報告。決算報告では別所日山師より監査会で精査されたことが告げられ一同承認。次に、「平成二十六年事業計画案」「平成二十六年年度予算案」を事務局より報告、一同承認。続き、

「オラトリオ日蓮聖人」開催報告

「オラトリオ日蓮聖人」の演奏会が、昨年十月六日（千葉県茂原市民会館）と十月十九日（東京都すみだトリフォニーホール）の二回にわたり開催された。初演から三十二年ぶりとなる演奏会には、両会場合わせて約二千四百人が来場し、観客は明朗な曲にのせられた日蓮聖人の御一代記に思いを馳せ、会場は大いに盛り上がった。

この「オラトリオ日蓮聖人」は、日蓮聖人七〇〇遠忌を記念して制作され、作曲に篠敏郎氏作詞に西川満氏を迎え、五年の歳月をかけて完成し、昭和五十七年四月二十二日に初演されたものである。

今回の演奏会は、制作当初より深く関わる日蓮聖人門下連合会相談役の持田日勇師（日蓮宗本山藻原寺貫首）が、昨年迎えた日向上人七〇〇遠忌報恩事業の一つとして再演を熱望し、実

現したものである。演奏会への総出演者は約二百五十名、公募で集められた合唱団は四十回以上にわたる練習を重ね、その規模の大きさを物語る。また、再演にあたりオーケストラ用の譜面が紛失していたため、日蓮宗宗務院に残されていたパートの譜面を基に専門家へ譜面の補作を依頼し、今回の再演が可能となった。

新たに製本されて完成した譜面は、門下連合会へ寄贈されることとなり、本年八月五日、日蓮宗宗務院において楽譜の寄贈式が行われ、持田相談役より門下連合会理事長の小林順光師（日蓮宗宗務総長）へ寄贈された。持田相談役は「日蓮聖人門下連合会には管理体制を整え、素晴らしい曲を多くの人に鑑賞してもらえよう、貸出にも応

じてほしい」と挨拶し、門下連合会事務局（日蓮宗宗務院）にて管理されることとなった。

大阪日蓮聖人門下懇話会総会開催

大阪日蓮聖人門下懇話会総会が五月十五日 大阪市中央区妙徳寺に於いて開催され、多くの会員の出席をみる。はじめに東孝信理事長導師のもと法味言上、福島正亮師による「宮澤賢治 法華堂建立勸進文を読む」の講演が行われた。引き続き案件に入り、平成二十五年事業・会計報告並びに平成二十六年事業計画が承認される。その後、懇話会に移り、会員相互の親睦が深められた。

▼人事（事務局への連絡日を含む）

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任 退任
平成二五・一一・一九	渡邊照敏	日蓮宗	理事長	退任
平成二五・一一・一九	太田順祥 小泉顕應	日蓮宗	幹事	退任
平成二五・一一・一九	関勝道 庄中卓弥	日蓮宗	幹事	退任
平成二五・一一・二〇	小林順光	日蓮宗	理事	就任
平成二五・一一・二〇	小林正雄	日蓮宗	常任理事	就任
平成二六・四・八	本間直暉 森山真治	国柱会	常任理事	退任
平成二六・五・一四	増田隆雄	本門法華宗	理事	就任
平成二六・五・二一	藤井照源 橋本一妙	京都門下連合会	副理事長	退任
平成二六・六・一〇	小林順光	日蓮宗	理事長	就任

日蓮聖人註画讚

小松原山鏡忍寺宝蔵



A4判上製本箱付/112頁/
オールカラー
発願・小松原山本山鏡忍寺
監修・中尾堯
頒価 5,400円（税込・送料別）



日蓮宗を代表する
貴重な御伝記を
初めて解読・読み下し、
現代語訳を添えました。



各派・教団・短信

日蓮本宗

◆本年は、日蓮本宗本山要法寺開山日尊上人がご生誕された文永二年(一二六五)から、ちょうど七百年を数える節目の聖年となる。

日蓮本宗と本山要法寺では、かねてより計画されていた記念事業「御開山日尊上人御生誕七五〇年慶讃大法要」を五月八日に奉行し、またこの大法要に合わせて、昨年十月に本山要法寺貫首・日蓮本宗管長に就任された丹治日遠親下の「嗣法第五十二祖日遠上人晋山式」も併修され、僧侶・檀信徒合わせて約五百人が参集した。大法要終了後、会場を京都市内のホテルに移し、「丹治日遠上人晋山祝賀会」が催され、大本山法華本門寺根源貫首・旭日重親下、大本山妙蓮寺貫首・松下日肆親下をはじめとする日蓮門下各派本山の貫首親下が来賓としてご出席され、日蓮本宗僧侶・檀信徒ら合わせて約二百五十人出席の下、共に慶事を盛大に祝した。(柳下真敬)

法華宗真門流

◆三月二十六日、隆寺に於いて、第三十一回僧風林・鍊成道場開催。◆四月七日・十四日、本隆寺に於いて、春季学林開講。◆四月十一日・十三日、本隆寺に於いて、春季大法会厳修。◆四月十三日、第二教区主催「第三十三回檀信徒研修会」開催。◆四月十六日・二十日、福井・本承寺に於いて、布教師養成所(岡眞行所長)開所。◆四月二十六日・五月六日、京都古文化保存協

会主催の春季京都非公開文化財特別公開にて、本隆寺を一般公開。◆五月二十一日、第一教区主催「第三十四回檀信徒の集い」開催。◆五月二十日、第三教区教学研修会開催。◆五月二十五日、「合掌運動北海道大会 第三十回記念大会」開催。◆六月二日・三日、本隆寺に於いて、研修会開催。◆六月三日、本隆寺に於いて、真門教学講習会開催。◆八月一日・三日、本隆寺に於いて、暁天講座開催。◆八月十六日、本隆寺に於いて、孟蘭盆会法要奉修。◆八月二十三日・二十九日、本隆寺に於いて、夏期講習会開催。《遷化》総本山第百五世 吉田日孝聖人 四月一日御遷化。(森田量哲)

本門法華宗

◆三月二十五日、華宗宗会が大本山妙蓮寺卯木講堂において開催。◆四月十二日、大本山妙蓮寺(松下日肆貫首)において春季大法要を奉修。◆四月二十三日、大本山妙蓮寺において大本山妙蓮寺第百二十世山下日遠親下加歴晋山奉告法要を奉修。◆本門法華宗学院(渡辺日恩学院長) 第百四十八回教学講習会を三月二十七日・八日、第百四十九回講習会を六月二十三日・四日、卯木講堂にて開催。◆布教誌『生きる』第六十二号、情報『信行』第百八十一号を七月一日に発行。(吉村光敏)

国柱会

◆一月一日、元旦大國禱。新年拝賀式。神酒拝戴式。賽主先生以下有志明治神宮参拝。七日、昭和天皇祭。賽主先生以下中央有志武蔵野御陵参拝。十二日、近畿地方連合局新年会に賽主先生御夫妻ご出席。松下陽一講師補随員。十六日、「明治の陽」推進協議会運営・実行委員会(於、衆議院第一議員会館)開催。賽主先生、森山真治講師補出席。十七日、恩師忌。常勤給仕日。日蓮主義講習会開催。十八・十九日、各局輪番常勤給仕。十九日、妙宗大靈廟例月供養会。中央同志新年大会開催。二十三日、日蓮聖人門下連合会機関紙編集委員会(於、日蓮宗宗務院)開催。森山講師補出席。◆二月一日、

月旦大國禱。二日、賽主先生、東日本大震災復興支援活動(福島県南相馬)五日迄。十一日、紀元節慶讃法要。十五日、釈尊涅槃祭報恩大法要。十五日・十六日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。十六日、聖祖降誕会慶讃大法要並びに妙宗大靈廟例月供養会。十七日、恩師忌。常勤給仕日。◆三月一日、月旦大國禱。四日、神社本庁にて「昭和の日をお祝いする集い」開催打ち合わせ。森山真治講師補出席。十一日、東日本大震災殉難之諸精霊位追善法要厳修。十七日、恩師忌。常勤給仕日。二十・二十一日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。二十一日、妙宗大靈廟春季彼岸大供養会。二十四日、日蓮主義講習会開催。三十日、申孝園桜まつり(本部・二階講堂)開催。◆四月一日、月旦大國禱。二日、明治神宮昭憲皇太后百年祭式典に賽主先生御出席。森山真治講師補、永野公一本部員随員。五日、賽主先生、九州地方連合局御親教。随員に森山講師補。七日迄。八日、釈尊降誕会慶讃法要。御聖日集会担当、森山講師補。十七日、恩師忌。常勤給仕日。十九・二十日、各局輪番常勤給仕。二十日、妙宗大靈廟例月供養会。二十七日、身延登詣団先発隊出発。二十八日、立正会慶讃法要。第八十四回身延登詣団開催。翌日身延親親閣登詣。(森山真治)

京都門下連合会

◆一月二十四日(本能寺文化会館) 会長田仲日統親下 副会長伊丹日章親下 理事長足立真正師 副理事長藤井照源師。◆二月十四日(金) 総会・御降誕会(法華宗真門流総本山本隆寺) 導師田仲日統親下 講師伊丹日章親下。◆三月七日(金) 理事会(総本山本隆寺) 立教開宗会の件。◆四月二十日(土) 立教開宗会(比叡山横川定光院) 導師伊丹日章親下 講師堀田泰盛師 観光琵琶湖博物館。◆六月十日(火) 身延理事会(日蓮宗総本山身延山久遠寺・下部ホテル)。◆六月十二日(木) 理事会(総本山本隆寺) 第五十回夏季大会開催。◆八月三十日(土) 第五十回夏季大会(本能寺文化会館) 講師田仲日統親下(総本山本隆寺貫主) 北川前肇師

日蓮宗

◆アメリカ合衆国別院で内野日総管長親下大導師のもと、北米開教百周年慶讃法要が宗門法要として六月二十九日に営まれた。また前日には早水日秀日蓮宗聲明導師が導師、現地の開教師が式衆を勤め「北米開教布教先師報恩声明法要」が、さらには東京都修法師会が中心となり、金井勝海北米教区長を導師に「世界平和祈願法要」が行われた。◆「千鳥ヶ淵戦没者追善供養並びに世界立正平和祈願法要」が八月十五日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で小林順光宗務総長を導師、東京四管区の宗務所長が副導師で営まれた。(大澤宏明)

法華宗本門流

◆四月八日 応永二十七年(一四二〇)に創立され、現在まで続く「興隆学林専門学校」の入学式が行われた(宗学科五名、宗学研究科六名入学)。◆四月十一日 戦没者慰霊法要奉修(千鳥ヶ淵墓苑)。◆六月十六日 法華宗再興之唱導師日隆聖人 御正法法要奉修 射水市 誕聖寺(日隆聖人御生誕地)。◆五月二十・二十一日 第六十八次宗会開催。◆五月二十七日・二十八日 平成二十六年宗務所長会開催。◆六月二日 興隆学林専門学校 新校舎上棟式奉修(尼崎市)。◆六月六・十日 法華宗米開教四十五年記念法要を奉修(於、法華宗桑港仏教会)。◆

九月二十九日 興隆学林新校舎落成慶讃法要を奉修(尼崎市)。◆十一月十三日 沼津市 大本山光長寺貫首 石田日信親下が法華宗第百三十四代管長に就任。推戴式は翌十四日に厳修される(於、大本山光長寺)。◆僧侶の布教技術の攻究を目指す、布教法式研修会の日程と内容は次の通り。(法話) 九月十七・十八日 於ホテル札幌サンプラザ(法要式) 十一月六・七日 於 北九州市 妙應寺・僧侶の資質向上、興学・布教の活性化を目指す、教学講習会の本年日程は次の通り。九州(七月二十八・三十日) 北海道(八月二十八・三十日) 兵庫(九月二・四日) 東海(十月一・三日) 中国(十月二十八・三十日) (宮村光明)

顕本法華宗

◆二月二十八日、千葉県木更津市本立寺において、開祖日什大正師の開山法要を奉修。法要後、落語家の三遊亭圓窓師匠による「落語と仏教」と題する講演が行われた。◆三月六日・七日の両日、総本山妙満寺において、第六十九定期宗会が開催された。平成二十五年宗務事業報告及び決算、平成二十六年度事業計画及び予算案が承認された。◆四月二十六日・二十七日の両日、総本山妙満寺において、春季報恩大法要を厳修、併せて靈宝「安珍清姫の鐘」鐘供養を奉行した。鐘供養後には、歌舞伎俳優・中村橋之助文による奉納舞が披露された。◆五月十五日、総本山妙満寺において、教学研究所主催「公開研究会」を開催。二名の教師が日頃の研究成果を発表した。研究発表に続き、布教総監・河村孝昭師と立正大学仏教学部講師・本間俊文先生による特別講義が行われた。◆五月二十五日、山本日恵親下大導師のもと、開祖日什大正師誕滅の霊場である福島県会津若松市の別格山妙法寺において、「開祖日什大正師御生誕七〇〇年慶讃大法要」が厳修された。また、東日本大震災で大きな被害を受けた妙法寺本堂の修復落慶法要と東日本大震災物故者追悼・被災者復興祈念法要が併修された。翌二十六日には、會津風雅堂において、「慶讃の集い」を開催。会津参詣の僧侶・檀信徒、約千二百名が参加した。地元の郷土芸能・会津彼岸獅子の演舞にはじまり、布教ビデオの上映、慶讃音楽大法要、布教総監・河村孝昭師の布教講演、雅楽師・東儀秀樹氏の記念公演が行われ、参加者一同、法悦極まるといった様子であった。◆七月二十八日・三十一日の三泊四日にわたり、総本山妙満寺において、「第五十回・顕本青少年錬成会」を開催。六十三名の小学生が参加した。◆八月二十五日・九月八日の十五日間にわたり、総本山妙満寺において、平成二十六年度妙塔学林(本科・研修科)を開講。(橋無限)

法華宗陣門流

◆二月三日、総本山本成寺(新潟県三条市)で「節分大祈願」が、本成寺貫首・石丸日然親下導師により厳修された。今年も約二万人の参詣者で賑わい、午後一時と三時の祈願終了後には恒例の鬼踊り、豆まきが行われ参詣者を楽しませた。◆三月六日・七日の二日間、第百二十一次定時宗会が宗務院(東京東鴨)にて開催された。ここで、本年一月よりユネスコを中心に開始された、ネパールのテイラウラコット遺跡の発掘調査に、本宗寺院のリッシュウイ・シャンティビハール(住職村上東俊)が宿泊施設を提供することで発掘プロジェクトに参加することが報告されるとともに、法華宗陣門流としても発掘チームを率いるイギリスのダラム大学に協賛として資金援助を行うことが決定した。◆四月十七日、宗務所長会が宗務院にて開催された。◆五月九日、宗研所報編集会議が宗務院にて開催された。◆五月九日、布教研究所員会が宗務院にて開催された。◆五月十二日、霊跡別院蓮着寺(静岡県伊東市)で「伊豆法難会」が中野日仁山主導師により厳修された。本堂での法要に引き続き、俣野を間近に臨む奥の院にて法要が営まれた。◆五月十三日(六月二十一日までの四十日間、「法華宗学林」が総本山本成寺にて開講された。今年も全国より多くの寺院徒弟が集まった。学林生達は毎日教学研究・練経・浄行等に励み、行学

二道に精進した。◆五月二十三日・二十六日の四日間、総本山本成寺で「千部大法要」が厳修された。二十三日・二十四日を現貫首日然親下、二十五日・二十六日を前貫首椿澤日壽親下が導師を務められ、日蓮大聖人御真筆大曼荼羅御開帳法要・鐘樓改修竣工式・御歴代法要・写経塚開眼法要等々の法要が営まれ、連日全国より多くの檀信徒が参詣した。また、「本成寺本堂再建百年のあゆみ展並びに石川雲蝶秀作展」と題し、本堂再建に関わる当時の貴重な資料や、本成寺と縁の深い彫刻家・石川雲蝶の作品のうち、本成寺や塔中寺院の所蔵作品に加え、県内外の所蔵家の協力による作品を加えた十数点が展示された。◆五月二十七日、会計監査会が宗務院にて開催された。◆七月六日、雅楽練習会が宗務院で開催された。◆七月二十八日、宗法審議委員会が宗務院にて開催された。(田辺尚志)

日蓮聖人門下連合会

- 目的
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡協力、団結を強化することを目的とする。
- 事業
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。
 - 1、祖廟護持の組織強化
 - 2、教育事業の提携
 - 3、布教の連合強化
 - 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
 - 5、各種出版物の刊行
 - 6、海外布教の提携及び交流
 - 7、対外的な各種の運動
 - 8、その他
- 加盟団体

日蓮宗	法華宗本門流
顕本法華宗	法華宗陣門流
本門佛立宗	日蓮本宗
法華宗真門流	本門法華宗
国柱会	日本山妙法寺
京都門下連合会	